

取扱説明書

(家具・インテリア関連)

◆contents

1.ご使用前の前に	P 2
2.ご使用上の注意 (家具・インテリア関連)		
1) 家具全般に関して	P 3～5
2) 収納家具類	P 6～7
3) テーブル・デスク類	P 8～9
4) 椅子・ソファ類	P 10～11
5) ベッド類	P 12～13
6) 鏡およびガラス付家具	P 14
7) 照明器具	P 15
8) キャスター付家具	P 16
9) カーテン類	P 17
10) 敷物製品	P 18
11) 寝具類	P 19～20
3.家具のお手入れ方法について	P 21
<よくある質問>家具の調整	P 22
4.家具の修理・リフォームについて	P 23

1.ご使用の前に

この度はIDC OTSUKAをご利用いただき誠に有難うございます。

お買い上げいただきました商品を安全かつ最適な状態でご利用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しいお取扱いをお願いいたします。

品質には万全を期しておりますが、万一商品に不具合が生じた場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの店舗までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお、商品によっては別に「取扱説明書」が添付されている場合がございます。

こちらはその商品に特化した取扱説明が記載されておりますので、あわせてお読みいただき、その説明に従ったご使用をお願いいたします。

【表示方法の説明】

ご購入の家具を末永く、安全に正しくお使いいただくために次の表記で記載しております。

 警告	<p>誤った取り扱いにより、 死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。</p>
 禁止	<p>誤った取り扱いにより、 軽傷および物的損害が生じる可能性がある内容です。</p>
 注意	<p>してはいけない禁止事項やご注意ください内容です。</p>

【家具の組立てについて】

- 組立・分解を行う際は必ずその商品に添付されている説明書に従い行って下さい。また、組立式でない商品は分解を行わないでください。
- 組立て前にネジ・部品類の数を確認し、もれなくしっかり締め付け固定してください。
- 家具は床面にしっかり安定するように設置してください。必要に応じて家具と床面の間にスペーサー（ベニア板やフェルト等）をはさみ、安定を保ってください。不安定な状態のまま使用すると、家具のゆがみや破損、転倒の恐れがあります。
- 組立て前にネジ・部品類の数を確認し、もれなくしっかり締め付け固定してください。

2. ご使用上の注意

1) 家具全般に関して



警告

誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。



火気や暖房器具などに近づけないでください。
熱により火災になる場合や火傷を負う恐れがあります。



コードやプラグが破損したまま、またはホコリがかぶったまま使用しないでください。
火災の原因となります。



家具で電源コードを踏んでいないか、また設置時に壁と家具の間に電源コードが挟まれていないかご確認ください。破損から火災の恐れがあります。



家具に付属のコンセントは、表示ワット数以下でご使用ください。表示ワット数を超えて使用されると、火災の原因になります。



コードやプラグ、コントローラーには濡れた手で触らないでください。また水気の多いところでは使用しないでください。感電の恐れがあります。



家具の上に不安定な物や家具の安定性を保てなくなるような物を乗せないでください。
転倒、落下により怪我をする場合があります。



改造を行ったり保安部品などを外したりしないでください。破損や事故によって怪我をする場合があります。



家具を乱暴に取り扱ったり、用途以外に使用しないでください。特に乳幼児や介護を要する方の使用には十分ご注意ください。転倒や落下、窒息により死亡、重症を負う原因となることがあります。



廃棄する場合は専門業者へ依頼してください。焼却すると有毒ガスが発生したり、破裂により怪我をする場合があります。



小さな部品は幼児の手の届くところに置かないでください。また、誤飲した場合、窒息などのおそれがありますので、小さな部品はなくさないよう注意して下さい。



消費電力1000Wを超える家電製品を使用する場合は、家具側のコンセントを使用せず、家のコンセントから直接単体で接続してください。



コンセント付家具に家電製品を接続する時は、必ず家電製品の取扱説明書の指示にしたがって設置、接続してください。



煙やニオイなどの異常を感じたときは、すぐに電源を切り、差し込みプラグを抜いてください。

**禁止**

誤った取り扱いにより、
軽傷および物的損害が生じる可能性がある内容です。



本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故や怪我の原因となります。



家具の上に立ったり飛び跳ねたりしないでください。転倒や落下により怪我をする場合があります。



ネジやボルトが緩んでいたり、異常を発見したまま使用を続けしないでください。破損により怪我をする場合があります。



扉や引き出し、伸張式・折りたたみ式家具等の可動部で手を挟まないよう注意してください。



ガラス部分には、ぶつける、落とす、荷重をかけるといった過剰な力を加えないようにしてください。また、ガラスについて小さなキズが原因で急激な温度差（熱いものを置く、急に冷やす等）により破損する場合がありますので注意して下さい。



家具を移動させる際に床材を傷つけたり、接地部位を破損させる恐れがありますので、必ず二人以上で持ち上げて移動して下さい。また、上に乗せている物や、収納物は外した状態で行ってください。



使い始めるときは、室内の換気を十分にしてください。ホルムアルデヒド放散量の少ない木材を使用しておりますが、化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などは、アレルギー症状を起こすおそれがあります。

**注意**

してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



直射日光や冷暖房器具の冷温風が直接家具に当たらないようにしてください。家具が変色や変形する原因となります。



設置の際は、湿気が多い場所を避け、水平な場所に設置してください。グラツキや異常音など故障の原因となります。



ペットの尿（アンモニア）、除光液、整髪料などの水溶液や溶剤などが家具に付着すると、変色や変質の原因となりますのでご注意ください。



壁紙や床材に家具が直接接触すると家具の塗料と化学反応を起こし、色移り又は変色してしまうことがあります。壁から離しての設置や敷物を敷いてご使用下さい。



床材の種類によっては、家具を設置または使用することによりキズや凹みがつく可能性がありますので、フェルト等の緩衝材を貼る、敷物を敷くなどキズがつかないように保護してください。



温度・湿度の変化により、無垢材の部分や突板に割れや反りが生じることがあります。加湿・除湿を行い室内環境を一定に保つようお願いします。



家具表面にセロハンテープ等の粘着性のあるものを貼らないでください。表面材が剥がれたり、色落ちの原因となります。



床暖房をご使用の場合、熱により家具接地面のゴム・プラスチックが溶けたり、塗料が床に移ることがあります。十分ご注意の上、敷物を敷いたり、床暖房に対応できるフェルト等を貼るなどして床面を保護してください。



新築の建物や高温多湿になりやすいお部屋では、家具を媒体としてカビやダニが発生しやすくなります。壁から少し離して設置すると同時に、お部屋の換気を心掛けてください。



安全にご使用いただくために、定期的に点検清掃をしてください。

2) 収納家具類

食器棚、テレビボード、リビングボード、タンス、チェスト、書棚、キュリオケース、シューズボックスなど



写真はイメージです



警告

誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。



開けた引出しや扉に乗ったり、家具によじ登ったりしないでください。転倒や破損により怪我をする場合があります。



複数の引出しや扉を同時に開けないでください。重心が前に偏り転倒し、怪我をする場合があります。



上下重ね式や左右連結式の家具は、必ず連結してご使用ください。振動や引出し、扉の開閉により商品が倒れて怪我をする場合があります。



上段のみに収納したり、棚の手前のみに収納しないでください。重心が前に偏り、転倒する場合があります。



お子様が収納内部に入って遊ばないように、ご注意ください。



蝶番や取り付け金具などの固定ネジは、使用中に緩んでくる場合があります。定期的
に点検して、しっかり締め直してください。



家電製品などを収納する際は、十分なすき間をとり通気をよくしてお使いください。
すき間をとらず使用されると、家電製品から排出される熱により火災や故障の原因と
なります。設置される家電製品の取扱説明書に従った設置をお願いします。

<食器棚・テレビボードなどのコンセント付家具について>



上記につきましては誤った使用をすると火災、感電、
やけど等の重大事故の原因となります。商品に添付さ
れている個別の取扱説明書に詳細が記載されておしま
すので、その説明に従ったご使用をお願いします。



写真はイメージです



誤った取り扱いにより、
軽傷および物的損害が生じる可能性がある内容です。



引出しや扉を勢いよく閉めたりしないで
ください。破損により怪我をする場合が
あります。



写真はイメージです



してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



家具を持ち上げる際は、扉や引出しが開いたり、棚板が外れる恐れがあります。十分
注意してください。



新しい製品は塗料、接着剤などの影響で目にしみたり、肌の弱い方はアレルギーを起
こすことがあります。しばらくの間部屋の換気を十分に確保したうえで、引出しや扉
を開けて通気をおこない、化学成分を取り除いてください。

また化学成分は家具に係わらず、家庭内でも様々なものに使用されており、お部屋の
換気が重要で効果的な対処方法となります。一般的には身体に影響のない微量であっ
ても、化学物質に対する影響は個人差があり、過敏症の方は特に注意が必要です。少
しでも異常を感じたら使用をやめ、医師の診断を受けてください。



新しい家具に乳幼児（生後24ヶ月以下）の衣料を保管する場合は、化学物質の影響
を避けるため衣類をビニール袋に入れた状態で収納してください。

また、化学物質過敏症など何らかの心配がある場合は、衣類をビニール袋に等に入れ
て収納してください。

3) テーブル・デスク類

ダイニングテーブル、センターテーブル、サイドテーブル、カウンターテーブル、書斎机、学習机、座卓、こたつなど



写真はイメージです



警告

誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。



テーブルの端に腰掛けたり、寄り掛かるなど荷重を掛け過ぎないでください。転倒や破損により怪我をする場合があります。



ストーブなど、火気の近くに置かないでください。火災の原因になります。



天板の上に腰掛けたり、立ったり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒して怪我の原因になります。



ガラス天板の上でコンロを使用した鍋料理等、火気は絶対に使用しないでください。また冷たいもの（氷やドライアイス）を直接ガラス天板の上に置かないでください。部分的な加熱や冷却により割れる可能性があり危険です。



写真はイメージです



各種取付金具が緩んだまま使用しないでください。怪我の原因になります。



移動する場合は必ず2人以上で行ってください。怪我や破損の原因となります。

<こたつについて>



上記につきましては商品により機能が異なり、その取扱いについても通常のテーブルとは異なります。商品に添付されている個別の取扱説明書に詳細が記載されておりますので、その説明に従ったご使用をお願いします。



写真はイメージです



注意

してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



伸張・昇降・折りたたみ式のテーブルを使用する際は、指や手を挟まないようご注意ください。



写真はイメージです



天板に熱いものや濡れたものを直接置かないでください。変型・変色の原因となります。



テーブルに濡れた食器を長時間置いたり、水分をこぼした場合はすぐに拭き取ってください。水分が染み込み表面が膨れたり剥離する場合があります。



商品の特性上、設置場所により若干のがたつきが生じることがあります。家具用フェルトまたはアジャスターでの調整をお願いします。また、家具用フェルトは消耗品です。使用していると剥がれてきますので、定期的に張替えをお願いします。



壁から離してご使用ください。壁紙などと化学反応を起こして、色落ちや色移りすることがあります。



高温や湿気の多い場所は避け、壁面から離すなどして通気をよくしてください。カビが発生する原因になります。



設置後しばらくは、ニオイがきつく感じる場合があります。その場合は、よく換気をしてください。ご使用とともにニオイが緩和されます。



化学雑巾は使用しないでください。変質の原因になります。



シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。変色や変形の原因となります。



木部に塗装された表面で、紙の上でボールペンなど先端の硬い物で文字を書いた場合、塗装面がキズになる場合がありますのでご注意ください。



引出しを引き出した状態で、上から押さえたり、重いものを載せたりしないでください。転倒や破損の原因になります。また、いっぱい引き出すと落下する場合がありますので注意してください。

4) 椅子・ソファ類

ダイニングチェア、アームチェア、デスクチェア、ソファ、ベンチ、ソファベッド、リクライナー、スツール、カウンターチェアなど



写真はイメージです



警告

誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。



飛び乗ったり、脚を浮かせて座ったりしないでください。転倒して怪我をする場合があります。



上で飛んだり跳ねたり不安定な状態で立ち上がるなどしないでください。破損して怪我をする場合があります。



必ず座面中央に深く腰掛けてください。浅く腰掛けるとバランスを失い、転倒して怪我をする場合があります。



可動部分に手や指を挟まぬよう、十分ご注意ください。特に小さなお子様は1人で操作しないようにしてください。



可動式のソファやリクライナーのフットレスト（足乗せ）を出した状態でフットレストに乗ったり座ったりしないでください。転倒して怪我をする場合があります。



写真はイメージです



ソファ類に小さなお子様を寝かせることは絶対にしないでください。クッションなどに身体がはさまり窒息などの事故の原因となります。小さなお子様には必ずベビー専用ベッドをご使用ください。

<電動式・可動式・機能付きソファについて>



上記につきましては商品により機能が異なり、その取扱いについても通常のソファとは異なります。商品に添付されている個別の取扱説明書に詳細が記載されていますので、その説明に従ったご使用をお願いします。



写真はイメージです



誤った取り扱いにより、
軽傷および物的損害が生じる可能性がある内容です。



積み重ね（スタッキング）できるイスは、積み重ねた状態で座ったり物を置いたりしないでください。指を挟んだり落下によりケガをする場合があります。



写真はイメージです



座面以外（背もたれや肘掛け等）に座らないでください。転倒・破損により怪我をする場合があります。



してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



濡れた状態では使用しないでください。色落ち、変色、カビの原因となることがあります。



ご使用中における床キズ、家具の色移りを防ぐために敷物を敷くか、脚にフェルトを貼ることをお勧めします。



写真はイメージです

5) ベッド類

ベッドフレーム、マットレス、ボトムクッション、ヘッドボード、2段ベッド、システムベッド、介護支援ベッド



写真はイメージです



警告

誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。



ベッドの上での喫煙や火気類の使用はおやめください。火災の原因となります。



ベビーベッド以外には絶対に乳幼児を一人で寝かせないでください。転落、窒息等事故の原因となります。

<電動ベッド・介護支援ベッド・跳ね上げ式ベッドについて>



上記につきましては商品により機能が異なり、その取扱いについても通常のベッドとは異なります。商品に添付されている個別の取扱説明書に詳細が記載されておりますので、その説明に従ったご使用をお願いします。



写真はイメージです



禁止

誤った取り扱いにより、
軽傷および物的損害が生じる可能性がある内容です。



ベッドの上で飛んだり跳ねたり、不安定な状態で立ち上がったりしないでください。商品が破損し怪我をする場合があります。



ベッドフレームやボトムクッションはマットレスのない状態で使用しないでください。商品が破損し怪我をする場合があります。



ベッドフレームを移動する場合は、必ず分解してから移動してください。破損や怪我をする場合があります。



マットレスを移動する際は必ず2人以上で移動してください。マットレスによっては曲がりやすいものもあり、無理に1人で持つとバランスを崩し、怪我や破損を起こす可能性があります。



サイズが大きいマットレスは、特に曲がりやすく、曲がった状態のままにすると中身の詰め物やコイルが変形して型崩れを起こす可能性がありますので、引越等の移動時は曲がらないよう板状のもので挟み、固定した状態で移動してください。また保管する際は曲がらない状態で保管してください。一度型崩れを起こすと元に戻せなくなる可能性があります。



してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



マットレスを無理に折り曲げたり、一点に荷重をかけたりしないでください。変型やきしみの原因となります。



設置場所の使用環境により、マットレスの裏面やすのこにカビが発生する場合があります。定期的にマットレスをベッドフレームから外して湿気を取り除いてください。



使用中に取り付けネジがゆるむことがあります。定期的に点検し締め直してください。

6) 鏡およびガラス付家具

ミラー、ドレッサー、食器棚、リビングボード、キュリオケース、書棚、ガラス天板テーブルなど



写真はイメージです



警告

誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。



壁掛け式ミラーは取付説明書に基づき、しっかりと固定してください。破損および怪我の原因となります。



写真はイメージです



スタンドミラーなど、奥行きがなく背の高い家具は倒れやすい構造のため、ご注意ください。使用時にぶつかったり不安定な場所に設置されますと、転倒および怪我の原因となりますので、固定金具を使用して壁に必ず固定してください。



ガラスは温度差により割れることがあります。部分的に冷暖房の熱、冷気が直接あたらないようにしてください。



注意

してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



吊り鏡・薄型ショーケースなど壁面に設置する際は、必ず工務店など専門業者にご相談ください。壁面の強度が足りないと落下など事故の原因となります。



ガラス面に物を置くときは、布、フェルトを敷くなどしてキズが付かないようにしてください。



鏡、ガラスは割れやすいものです。小さな力でも割れることがありますので、慎重に取り扱ってください。破損、ケガの原因となります。

7) 照明器具

シャンデリア、ペンダント、シーリング、ブラケット、スタンド、スポットライト、電球など



写真はイメージです



警告

誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。

<照明器具について>



照明器具は誤った使用をすると火災、感電、やけど等の重大事故の原因となります。以下の基本的注意事項に加え、商品に添付されている個別の取扱説明書に詳細が記載されておりますので、その説明に従ったご使用をお願いします。



照明器具には寿命があります。設置して10年経過すると外観に異常がなくても内部の劣化が進行しておりますので、点検または交換してください。点検せずに長時間使い続けると火災・感電・落下する原因となります。



浴室など湿気が多い場所や、屋外では使用しないでください。（防水・防湿・防雨型を除く）火災・感電の原因となります。



点灯中や消灯直後は本体に触れないでください。やけどの原因となる場合があります。



器具の改造や部品交換をしないでください。火災・感電・落下する原因となります。



異常を感じた場合は、速やかに電源を切り、使用を中止してください。そのまま使い続けると火災・感電の原因となります。

8) キャスター付家具

ダイニングチェア、デスクチェア、アームチェア、スツール、テーブル、ワゴン、カウンターなど



写真はイメージです



警告 誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。



押して遊んだり、座ったまま激しく動かしたりしないでください。特に小さなお子様
が遊んだりしないよう注意してください。



移動させる際は、前に人がいないことを確認してください。また、ストッパーがつい
ている場合はストッパーを解除してから移動してください。



禁止 誤った取り扱いにより、
軽傷および物的損害が生じる可能性がある内容です。



移動する場合は、段差等でキャスターが引っ掛からないよう注意してください。転倒
して怪我や故障の原因となります。



キャスターを使用して移動させる場合は、必ず乗せている物や収納している物をおろ
して行ってください。



注意 してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



フローリングなど、床の材質によって床にキズをつけてしまう恐れがあります。十分
ご注意ください。



厚手のジュタンなどの上で移動させる場合は、慎重に行ってください。キャスター
や敷物が破損する原因となります。



キャスターに手や指を挟まないようにしてください。



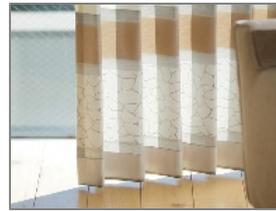
キャスターは移動、運搬に便利な機能ですが、安定性に欠ける側面があります。特に
小さなお子様や、ご高齢の方等がキャスター付のイスをご使用する場合、転倒等には
十分気を付けてください。



キャスター付家具は、キャスターが床面と摩擦する為、床面にキズが付きやすくなり
ます。特に接地面がフローリングの場合、床のキズを防ぐため、敷物を敷いてお使い
になる事をおすすめいたします。

9) カーテン類

ドレープカーテン、レースカーテン、ブラインド、シェード、ロールスク



写真はイメージです



警告

誤った取り扱いにより、
死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性がある内容です。



カーテンにぶら下がらないでください。カーテンが外れ、破損および怪我の原因となります。



禁止

誤った取り扱いにより、
軽傷および物的損害が生じる可能性がある内容です。



ブラインドやロールスクリーンなどの機械類は、無理な角度から操作しないでください。昇降器具が外れ、破損および怪我の原因となります。



お手入れ・お洗濯方法につきましては、商品に添付されている取扱い絵表示に従った対応をお願いします。生地縮みや色落ち、破損が発生する場合がありますので注意してください。



注意

してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



カーテンは室内環境（湿度温度の影響）・自重により伸縮します。これは繊維素材の特性ですのでご承知ください。カーテンにとっては高温・多湿が最も厳しい環境です。特に絹・綿・麻・レーヨン素材を使用しているカーテンの中には伸縮の大きいものがあります。カーテンフックのツメの位置を変えることにより若干丈の調整ができます。



カーテン素材の中には、吊ってからしばらくの間は固有のニオイがするものがありますが、時間と共に薄れていきます。ニオイが気になる時はお部屋の換気をより頻繁に行ってください。



開閉以外に、物を吊ったりぶら下げたりしないでください。生地やレールが破損する場合があります。



シワなどが目立たぬよう、細心の注意を払って梱包してお届けしております。生地の性質によっては、箱から取り出してしばらくの間たたみジワが残る場合がありますが、レールに掛けて吊っていると、時間と共にシワは目立たなくなりますのでご安心ください。

10) 敷物製品

ペルシャ絨毯、ギャッベ、アクセントラグ、玄関マット、ウッドカーペット



写真はイメージです



注意

してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。



水に濡らしたり、水洗いすると、色落ち・色ムラ・縮み・シワなどの原因になりますので避けてください。



フローリングの上に置き敷きする場合、裏面の成分が反応し、フローリングが変色したり裏面のゴムが床面に付着することがありますのでご注意ください。特に床暖房や塩化ビニール素材の床材の上でご使用の場合、床材が変色または密着する可能性があります。



ウールやシルク、綿などの天然素材品は遊び毛が出たり、色落ちすることがあります。



シルクは紫外線に弱く、変質しやすいので、直射日光の当たる場所でのご使用は避けてください。



シルク素材は他の天然繊維に比べ、吸湿性が良い反面、湿気を帯びるとシワになりやすい性質があります。特に湿潤状態のシルクを擦ると表面にキズがついて、白く毛羽だったようになりますのでご注意ください。



サイザルやジュートといった麻素材を使った製品は、繊維が太く表面が硬く仕上がっておりますので、特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。また、衣類に引っ掛かることもありますのでご注意ください。



製品によっては、若干の収縮や反りが発生することがあります。

11) 寝具類

掛布団、敷布団、枕、掛布団カバー、
シーツ、枕カバー、ベッドパッド、



写真はイメージです



注意

してはいけない禁止事項やご注意いただきたい内容です。

<羽毛布団について>



羽毛布団は商品により特性や機能が異なります。以下の基本的注意事項に加え、商品に添付されている個別の取扱説明書に詳細が記載されておりますので、その説明に従ったご使用をお願いします。



アレルギー体質の方は、羽毛（鳥）がアレルギーの原因物質となる場合があります。事前に医師に相談の上、ご使用ください。



側生地は羽毛が吹き出しにくいよう細い糸で綿密に織られておりますが、商品特性（通気性を良くする）により多少ムダ毛が出る場合があります。その際は念のため側生地が破れていないか確認いただき、破れていなければ特段支障はありませんので安心してご使用ください。



布団をたたくと羽毛が損傷し、かさ高性がなくなりますのでお避け下さい。



羽毛はどんな小さな穴でも吹き出しますので、襟カバーを縫い付ける等、布団に針やピンを絶対に刺さないでください。



万が一側生地に穴や破れが生じた場合は、お買い上げ店舗にご相談ください。



掃除機で吸うと側生地の縫い目を次第に大きくし、羽毛が吹き出す原因となります。また羽毛自体が吸い取られて少なくなる場合がありますので、掃除機の使用は避けてください。



お手入れ・お洗濯方法につきましては、商品に添付されている取扱い絵表示に従った対応をお願いします。



長く使用しないときは、カバーを外し、よく風に当ててから湿気のない場所に保管してください。なお、保管の際は防虫剤の使用をお勧めします。

<各種寝具について>



寝具は商品により特性や機能が異なります。以下の基本的注意事項に加え、商品に添付されている個別の取扱説明書に詳細が記載されておりますので、その説明に従ったご使用をお願いします。



お手入れ・お洗濯方法につきましては、商品に添付されている取扱い絵表示に従った対応をお願いします。生地縮みや色落ち、破損、詰め物の偏りが発生する場合がありますので、注意してください。

3.家具のお手入れ方法について

どんなに質の高い家具でも、それにふさわしいお手入れを怠ると劣化は進んでしまいます。

お気に入りの家具をより長く、良い状態で使い続けるためには日頃のケアが大切です。

IDC OTSUKA ホームページにてご家庭でできる以下のケア方法をご紹介します。

ぜひご活用ください。

※詳しくはこちらから ⇒ <https://www.idc-otsuka.jp/guide/inspection>

●木製品の塗装別お手入れ



●革ソファのお手入れ



●布ソファのお手入れ



●カバーリングソファのお手入れ



●カーテンのお手入れ



●シェードカーテンのお手入れ



●照明のお手入れ



●絨毯・ラグのお手入れ



<よくあるご質問>家具の調整

家具のお手入れ方法の中で「よくある質問」をIDC OTSUKAホームページに掲載しております。Q & A方式による質問と回答をご用意しておりますので、お問い合わせの前にぜひご確認ください。

※詳しくはこちらから ⇒ https://www.idc-otsuka.jp/guide/repair_qa

<よくある質問>掲載例

●引出しの取り外し・調整方法



●開き戸（観音開き）の調整方法



●引き扉（スライド扉）の調整方法



4.家具の修理・リフォーム

お使いの家具でお困りごとはありませんか。

家具は長く使っていると、どうしても傷みや不具合がでてくるものです。

「愛着のある家具だからずっと使い続けたい」

そんな声にお応えして、大塚家具では豊富な知識と技術力をもつ専門職人による修理・リフォームを承っております。

詳細はIDC OTSUKAホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

※詳しくはこちらから ⇒ <https://www.idc-otsuka.jp/guide/repair>

<修理・リフォーム例>

●塗り替え



●張替え



●フレームのぐらつき・ゆるみ修理



●羽毛布団リフォーム



●ファブリックリフォーム



●総桐箆筒リフォーム

